

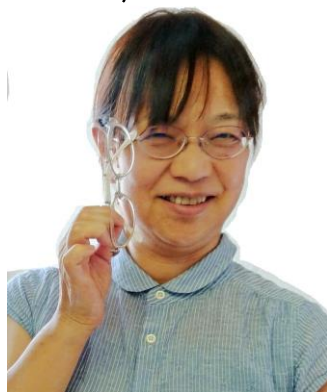
終わりに

○私はコンタクト歴45年、さすがに眼球ぼろぼろで、メガネとの併用を始めたのですが、あまりのド近視・ド乱視・老眼も：なのでレンズが分厚いうえ、やっぱりすぐ疲れるなあ・・・と悩んでいたら、この度、素晴らしいレンズに巡り合いました。近視・乱視・老眼に、境目なく対応し、すっきり見えて、全く疲れなくて楽！しかも薄いレンズなのです。

つくづく感服したのは、レンズを調整してくださる方の技術力です。今回はその道50年のプロの方に合わせていただいたのですが、おかげ様で、私の眼鏡に対する価値・評価と世界がガラッと変わり、感謝、感謝です。これから素敵なおデザインの眼鏡、楽しめるわ！

福井はメガネ枠の産地です。枠を売るにも、まずレンズ。最適レンズで「眼鏡の持つ魅力をきちんと伝えることが大事」と実感した次第です。

眼鏡の細川です。どうぞよろしくお祈りします！



細川かをり県政報告

第46号

第十九次民主議会がスタートし、初めての定例会が終了しました。春の統一地方選挙に立候補し、再度議席を頂きましたこと、遅ればせながら、改めまして、心よりお礼申し上げます。福井県議会は、全国の再高齢県議と再年少議員を有し、幅広い世代の意見が交わされる反面、37名の議員中、女性議員が2名に減りました。自分の役割の重さを見つめ、なお一層努力を重ねてまいる所存です。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

さて今議会は、杉本新知事に対峙する初議会でもありました。私は、杉本さんの掲げる「徹底現場主義」「県民主役」の方針に期待し、応援してきた立場でしたので、それが掛け声だけでなく、県政全体が、県民の皆様や各現場からのボトムアップ重視となってほしい。今回は、そんな思いを込めて質問させていただきました。

○夏本番、キュウリ・トマト・ナス・ピーマン・とうもろこしといった夏野菜が店頭に並びます。私はまず、地場産の野菜を物色、それで足りないものは国内産から探します。地場のものは新鮮で、生産者の方のお名前を拝見し、「○○地区に多い名字だから、あの辺りの畑で作られたのかなあ。」などと勝手に想像して楽しんでます。先日も大きなスイカを購入しました。見た目に少し傷があったり楕円であったりしたせいか、とてもお安く、しかも食べたらずごく甘くて食感も良く、美味しさは抜群でした。完熟のモノを頂けるのも地場産の良いところですね

県政報告会

8月20日(火)
時間 午前10時～
場所 コミュニティセンター村国
村国1丁目75-44

8月22日(木)
時間 午後7時半～
場所 月尾サブセンター
轟井町21-29-1

★ ラジオ「丹南FM79.1」
「県議会 夢 通信」
8月24日(土) 午後4時～
(再) 25日(日) 午前10時～

細川かをり県政報告 R1.8
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国1丁目2-11

繊維工場火災より

6月に永平寺町で起きた繊維工場火災では、工場と事務所の4棟が全焼し、4名の方が亡くなられました。火の回りが速く、「出入りロシヤッターが作動しなかった」、あるいは「消防からこれまで特別に指導はされていない」と報道されています。

つまり、「この工場で作っていた糸が危険物でもなく指定可燃物の指定も受けず、「貯蔵及び取り扱ひの規制外だった」ということです。(現状では、「糸」は「わら」と同等で、1000kg以上の保管で規制がかかる。)

しかし、昔の糸と違い、その工場で作られていた糸は、肌触り良く超軽量の繊維になる0.1ミリの超軽量の糸で、空気・酸素に触れる「重さ当たりの面積」が大気く、いったん火が付いたら危険物並みに燃え広がるのが速い物です。

最新のマイクロ繊維の危険性を認識すべきだ。国や県が調査・研究し、規制見直しをよう求める。



杉本知事：平成28年から2年間、総務省消防庁で国民保護・防災部長でした



指定可燃物の範囲は、これまでも技術の進歩により、例えば「大量生産が可能になった『木質ペレット』を指定可燃物に加える」といった見直しを随時行っている。繊維工場では、「1000キロ以上の糸」の場合、指定可燃物になるのだが、その量が正しいのか、もしくは危険物(↑もつと規制が厳しい)に当たるものに合致していないか、検討するよう要請する。

★7月22日～25日、消防庁消防研究センターから4人の職員が派遣され、現地調査が行われました。繊維王国の福井だからこそ、「先端技術に応じた備え」を怠らず、二度と不幸な火災を起こさないようにと願ってやみません。

女性のSOS

細 女性総合相談窓口は、他の機関の情報も含め、総合的な情報を発信強化すべき。また、SNS やメールで 24 時間受付、現状の9時～5時の受付時間の拡大を求める。

県 生活学習館の女性総合相談窓口は、女性の悩み相談に対応するほか、他の支援窓口のゲートウェイ(案内入り口)の役割も担っている。

例えば、DV相談のケースにより、一時保護所や警察、性暴力センター「ひなぎく」などに支援を依頼し、必要に応じて法テラスへの紹介も行っている。

メールは受け付けているが、基本は面談でお悩み事をお聞きする。時間外は警察と総合福祉相談所で 22 時まで対応しているので紹介しているが、県窓口を夜に延長できるか検討する。

相談内容別に専門機関を一覧にしたような形で整理し、ホームページに掲載することはすぐに始める。

相談窓口の連絡先を QC コードに記載した名刺サイズのカードを、今年作って配布したい。

地域活動のSOS

細 働き方改革で、今後 60 代の方々が当たり前にならば、地域活動を担うマンパワーが縮小。民生委員の成り手もなかなかない。各種手続きの簡素化も必要。

知 担い手不足で、草刈りや除雪が進まない実態がある。集落同士の助け合いや集落支援員を外から募集するなど工夫がいる。

池田町のマイバス運動など、住民の助け合い活動を応援しているが、配食や買い物支援などにも広げられないかなど市町と共に検討し、実現できるものであればしたい。

細 働き方改革で、県庁職員の帰宅も早くなっている。ぜひ、地域活動への参加奨励を。

知 これまでは仕事時間に長くとられていたが、これからは、仕事のストレスを少しでも減らすことで地域貢献活動に人を送り出すことにもつながる。「行財政アクションプラン」でもできるだけ奨励し、進めたい。

スポーツ、NPO 活動、子育て支援、消防団など、働き方改革とともに、地域貢献活動の意識が職員の中に高まるよう、私も努力していく。

知 自立心強い、心優しい、ルールを守る、争わない、粘り強い、他人を敬う…選挙の演説のときは反応がいいのか悪いのが分からないのだが、帰られる時に玄関で熱く手を握って「よかったですよ」とか言ってくれます…

『内に秘める』部分を感じる。

大きく言うと「素直に謙虚にやられる」のが福井県民の皆様だと思つ。



声なき声を行政に
三鷹市が「無作為抽出の市民会議」
9月 月 無作為抽出の市民会議
「声なき声を行政に」
三鷹市が「無作為抽出の市民会議」
9月 月 無作為抽出の市民会議

私もできるだけいろんな声を、小さな声も含めてお伺いできるようにと思っており、形はともかく、無作為で選んだ、抽出した方への「意見を伺うような形を考えてまいりたい」

市民会議は、子育て支援センターや、NPO 活動、消防団など、働き方改革とともに、地域貢献活動の意識が職員の中に高まるよう、私も努力していく。

細 いろんな被災地で活動すると、『県民性』『地域性』の違いを感じる。都会では、伺ったお宅で「あなたたちは、一つちを拭いて。」

「そちらのグループは、トイレ掃除をお願い。」と、ぱっぱと言われる事が多く、田舎では、見ず知らずのボランティアを、家はもちろん、地区に入れることにも慎重だ。地区内で話し合い、『区長さんが対応』『それぞれの被災者は顔を出すこともない』といった事が多い。福井はどうか。

福井豪雨の今立ボランティア開設時は、まず町の広報車で呼びかけて回ったが申し込みが上がってこない。そこで集落を回り、困っている方は、ボランティアを要請して下さい。」

「お礼ができない、お茶も出せなくて申し訳ない。」隣の集落はうちよりひどいので、自分たちで頑張るしかないと思つてた

などと謙虚な声がとても多く、『遠慮しないで』と肩をたたいて、ようやくボランティアの依頼が来るようになった。

私は、『人の本性は、窮地に陥った時にこそ表れる』と思つているので、災害時に見た『謙虚で忍耐強い』『地域のまとまりを重視する』考え方や行動は、福井県民の特性だと捉えている。

仕事で全国を回られた杉本知事は、福井の県民性をどう感じておられるか？

細 格差社会と言われる今日、有識者や力のある人の意見だけで政策を考えるべきではない。

県民性を考えた時、「役職」「団体肩書」があつて、県や市町から依頼された人との対話だけでは『謙虚で手を上げるのを遠慮する』『飛び出て摩擦を避けたい』人の声は得られないからだ。特に女性や若者は、圧倒的に『声なき声』となる。

「声なき声」を集めるには『肩をたたくしかない』と考え、私は、「無作為抽出」という方法を提言する。

「住民基本台帳から無作為抽出によって選ばれた18歳以上の市民の方々に参加依頼書を送り、承諾を得た方々に参加していただき、市民討議会を開催する。」

これは東京都三鷹市で、基本計画の策定・改定に行われている手法だ。これならば、世代・性別まんべんなく、多くの立場、多くの角度からの意見を伺える。実際、とても質の高い結果となり、三鷹市は、住民満足度が日本で常にトップクラスだ。

杉本知事には是非とも「声なき声」にも着目していただき、特に長期ビジョンの策定は、時間がかかってもいいので丁寧に県民の声を拾っていただきたい。

知事、長期ビジョンの策定に、無作為抽出で県民参加を呼び掛けてはいかがか。